

研究情報公開資料（オプトアウト用）

この公開情報をご覧になって、

1. ご自身が研究の対象になっているのかがよくわからない
2. 研究の内容や利用される試料・情報について詳しく知りたい
3. ご自身の情報が研究に用いられることを拒否したい

～この場合はお申し出により、試料や情報の研究への利用を停止します

などの場合は、下記 12.の「お問い合わせ先」までご連絡ください

研究管理番号 (受付番号)	YCR19028
1 研究課題名	保険診療時代の肥満症外科治療における患者サポートグループの意義
2 研究機関および 研究責任者 (研究分担者) (共同研究機関)	研究機関 医療法人社団あんしん会 四谷メディカルキューブ 研究責任者 減量・糖尿病外科センター 保健師 阿部藤子 研究分担者 減量・糖尿病外科センター 関洋介、笠間和典、鍋倉大樹、 武澤歩惟、森山尚美、吉川絵梨
3 研究期間 調査期間	研究期間 開始：院長許可後 ～ 終了：2019年10月31日 情報等調査期間 開始：2017年4月1日 ～ 終了：2019年3月31日
4 研究の背景・目的 ・意義・方法等	肥満症外科治療チーム医療においてサポートグループ（SG）はモチベーションを高める等で有用とされ、過去に SG への参加の有無が腹腔鏡下ルーワイ胃バイパス術後患者の減量成績に影響することを報告しています。現在、大部分の患者が“腹腔鏡下スリーブ状胃切除術(LSG)を保険診療で”受けているという点で当時と異なります。2017年4月～2018年5月に当院で LSG が行われ、術後1年間継続来院した 85名、男性 37名、女性 48名を SG 参加群(67名)と SG 非参加群(18名)の2群に分け、術後1年目における総体重減少率(%TWL)を比較し、SG への参加有無が減量成績に影響しているか検証します。
5 研究の対象 となる方	2017年4月から2018年5月の間に当院で LSG を受け継続して経過観察を受けた方が対象となります。
6 <u>試料・情報等の 利用目的、利用方法</u>	年齢、性別、体重、サポートグループ参加の有無から得られた情報を解析します。
7 <u>研究に用いる試料・ 情報の種類（項目）</u>	年齢、性別、体重、サポートグループ参加の有無
8 <u>試料・情報を利用 する者の範囲</u>	上記2と同じ範囲の者
9 <u>試料・情報の 管理責任者</u>	上記2と同じ範囲の者
10 計画書等の閲覧	研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧可能です。 下記 12.のお問い合わせ先までご連絡ください。ただし、知的財産権の保護等に支障がある場合は閲覧できないこともあります
11 その他の開示 すべき情報	個人情報については、一定の条件の下で開示可能です。 下記 12.のお問い合わせ先までご連絡ください。ただし、他の対象者の個人情報に支障があるなどの場合は開示できないこともあります。
12 お問い合わせ先	試料・情報が研究に用いられることについて、ご本人（あるいは代理人）が了承されない場合は、下記の連絡先までお申し出ください。 四谷メディカルキューブ 減量・糖尿病外科センター 阿部藤子 住所：〒102-0084 東京都千代田区二番町7-7 電話：03-3261-0401

診療情報を研究に用いるにあたっては、個人情報保護のため個人を識別できない状態にして 6.の目的のためだけに使用します。また研究成果を学会や論文で発表する際は、「個人を特定できる情報を削除した上でデータ処理、解析」したものを使用します。